

明治以来、現在に至るまで、他国を侵略して〈経済発展〉を続ける日本の社会構造を問う

6月24日(土)

午前の部

午後の部

10時-12時 / 13時-15時半

(午後の部のみ上映後 土屋さんトークあり)

6月26日(月)

10時-12時半

(上映後 土屋さんトークあり)

*土屋春代さん

フェアトレードのお店、有限会社ネパリ・バザーロの代表。ネパールで厳しい生活を余儀なくされている人々の自立を支援。2017年には沖縄の将来に向け「沖縄カカオプロジェクト」をスタート。

本作品をご紹介します。想いをお聞きます。



裏面の映画・
寄付情報も
ご確認ください

「命を育む土地を
人殺しのためには
使わせない」

阿波根昌鴻さん

完全予約制

記録映画

阿波根昌鴻・伊江島のたたかい
— 教えられなかった戦争・沖縄編 —

(上映時間・一時間五三分)

企画・制作・著作 映像文化協会

協力 伊江島反戦資料館「ヌチドゥタカラの家」・沖縄反戦地主会・沖縄一坪反戦地主会・「教えられなかった戦争」制作上映実行委員会

入場料 1,200円 (小中高生 800円、未就学児 無料)

会場 エコストアパラギ2階
〒251-0025 藤沢市鵜沼石上1-3-6

予約



0466-50-0117



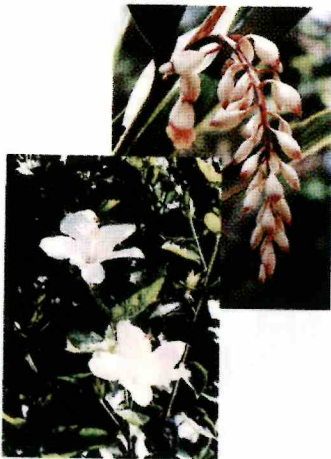
fujisawa@eco-papa.com

主催:湘南 平和憲法の碑を建立する会

共催:有限会社ネパリ・バザーロ、NPO法人気候危機対策ネットワーク、エコストアパラギ

■私たちの平和運動は、米軍基地を日本からなくしただけでは終わらない。
 平和憲法を世界に広め、地球上から戦争も武器もなくす。そして地球の資源をすべての人で平等に分け合える社会、能力に応じて働き、必要なだけ受け取れる社会を築くまで続けるのです。

阿波根昌鴻さん



■阿波根さんは戦後の伊江島土地闘争において、命を守るために土地を守るのだから、土地を守るたたかいで命をなくしてはいけないといい、穏やかに相手を説得し、敵の中に味方を作っていくというしなやかなたたかひな沖繩のたたかいを実行されました。
 石原昌家さん（沖繩国際大学教授）

■反戦平和資料館を通して願うことは、戦争のすさまじさ、愚かさを伝え、命の大切さ、二度と戦争があってはいけないということを知ってもらうことです。

阿波根さんとともにたたかい続けている謝花悦子さん（「やすらぎの家」代表）

■63才で中央労働学院に入学した阿波根さんは、こちらが圧倒されるくらい真剣な態度で勉強されました。科学的社会主義を学んで、世の中のこれまでのことが全部ひっくりかえるような新しい喜び、学ぶ喜びを感じていたあの顔付きを今でも思い出します。

阿波根さんが中央労働学院で学んだ畑田重夫さん

■ひとりひとりの魂の救いということだけではなく、皆がどう仲良く暮らせるかということ、生存競争もない、能力に応じて働いて皆捧げて、必要に応じて受け取り与えられる生活を求めて始まったのが一燈園でした。

阿波根さんが伊江島の若者を学ばせた一燈園の責任者、石川 洋さん

■沖繩の基地のたたかいが、世界で平和を願い、生活を守ろうとしてたたかっている人たちと同じ歩みの上にあるのだという思いを、伊江島の人たちは持ち続けてきたのではないのでしょうか。

沖繩平和ネットワークの村上有慶さん

■私たちのためにあなた方に死んでほしくないし、私たちのためと思って人を殺してほしくないのです。家族のために、あなた自身のために、自由に生きられるように、アメリカに戻ってほしいのです。（沖繩の米軍基地キャンプ・シュワブのゲート前から基地内の海兵隊員に向けて）

沖繩で訓練を受けベトナム戦争に従軍した元米国海兵隊員のアレン・ネルソンさん

■世界の総生産の22%を占めるアメリカと、18%を占める日本との同盟関係を軍事的に支えているのが日米安保体制であり、日米の軍事同盟が世界的に経済権を維持する、守っていくというのが安保体制の基本的な本質だろうと思います。安保があるから日本が繁栄しているということがもし事実だとしたら、その日本の繁栄の影に何かがあるのか。沖繩の軍事基地が沖繩の民衆を苦しめています、その基地のターゲットにされているのはどこの誰なのか。私たちはそういうことを具体的に考えていかなければならないだろうと思います。

新崎盛暉さん（沖繩大学教授）



<企画・製作>映像文化協会
 <スタッフ>

*構成・撮影 高岩 仁
 *録音 栗林豊彦・伊藤裕則
 *編集 坂間雅子・井村文子
 *助監督 横手三佐子
 *撮影 多田价男・小林 明
 *音楽 嘉手苧林昌・大工哲弘
 知名定男・ネーネーズ
 *ナレーション 重藤 純子
 *吹替 木内 稔

<主な内容>

- *沖繩のたたかいの歴史と阿波根昌鴻さんの思想形成*
 宮古島人頭税廃止闘争・本部山事件と謝花昇・本部徴兵拒否運動・沖繩の自由民権運動／キリスト教の洗礼・南米での移民生活・西田天香と一燈園・内村鑑三と興農学園／伊江島でのデンマーク式農民学校建設
- *沖繩戦・米軍による土地強奪・伊江島のたたかい*
 息子の死／餓死、爆死、射殺などの基地被害／乞食行進、ミサイル基地の撤去／中央労働学院での学習・団結道場の建設・基地の50%を解放・反戦平和資料館の建設
- *沖繩の米軍基地、日米安保の真の目的*

<お話を撮影した方々>（敬称略・50音順）

阿波根昌鴻／喜代夫妻／新崎盛暉／有銘政夫／アレン・ネルソン／池原秀明／石川清敬／春夫妻／石川 洋／石原昌家／上原進助／浦崎直良／久保田一郎／島袋善祐／謝花悦子／平良 修／高宮城 清／知念忠二／長嶺良美／畑田重夫／ハロルド・リカード／平安山ヒロ子／平安山ミト／平安山良有・シズ夫妻／平安山良尚／松田むつ／村上有慶／渡邊 進

募金のお願い

湘南平和憲法の碑を建立する会は、湘南の地に平和憲法の碑を作る活動をしています。
 ご賛同をいただける方、ぜひお力をお貸しください。

振込先

ゆうちょ銀行 記号10930 番号31319721「湘南平和憲法の碑を建立する会」
 *他の金融機関からのお振込み→ ゆうちょ銀行 店名〇九八(ゼロキュウハチ) 普通3131972